

森林環境管理の即戦力となるリーダーを育成する(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)の整備、運営に対する支援

【担当省庁】農林水産省、林野庁

奈良県における取組

・森林環境管理に資する森林経営については、森林の生産性を高め、持続可能な森林経営を目指す必要がある。

・奈良県では、持続可能な森林経営を推進するために、スイスの森林経営を参考にしているところである。

・スイスにおいて、持続可能な森林経営が成り立っているのは、**①人材育成、②路網整備、③機械化等**により森林の生産性が高いためである。



・スイスの人材育成のように森林環境管理の即戦力となるフォレスターを育成するシステムの確立が必要である。



・現在、奈良県では(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)の設置に向けて、三重県・和歌山県とも連携を図りながら、検討を進めているところである。

平成29年度の県予算

事業名: スイス型森林管理推進事業

スイス型人材育成カリキュラム検討など

委託費ほか 36,150千円

国にお願いすること

■ 森林環境管理の即戦力となるための人材を育成するため、(仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)の整備が不可欠であり、その施設整備及び運営体制の確立に向けて以下の計画を進めているところ

- (仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)の施設設計、施設整備
- (仮称)奈良県フォレスト・アカデミー(林業大学校)開校へ向けてのカリキュラム検討(スイス・リース林業教育センターからのアドバイス(有料)等)
- 講師陣の確保

これらを実現するため、

・「**緑の新規就業**」総合支援対策等において、地方独自の人材育成が図られるよう、施設整備及び運営体制の確立に対し**メニューの拡充を**図られたい。

参考事例

スイスベルン州にある
リース林業教育センターの場合

リース・フォレスター養成校は、1996年にRC造り地下1階と木造の地上3階建てとして落成。大きくは、**教育棟**と**宿泊棟**(一般向けの簡易ホテルや寮として使用:ベッド数96)の2棟にわかれている。



教育棟



宿泊棟



Bilder © 2015 Google, Kartendaten © 2015 Google 50 m

【県担当部局】 農林部新たな森林管理体制準備室、林業振興課